

新潟会計ビジネス専門学校

令和5年度（2023年度）

学校自己評価報告書

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行

われているか

- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 教育理念・目標

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	3
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

(2) 現状

- 当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。
【教育理念】
- 人間力あふれるスペシャリストを輩出し地域社会に貢献する。
【教育目標】
- 本校は、ビジネス・コンピュータ分野における資格・技術・知識の習得を基に、社会において優れた人材として活躍できる思いやりの心と共同の精神をもつ人材を育成する。
【教育方針】
 - ・正しい道は、どこまでも自ら進んでやりぬく強い意志と勇気をもつ人材を育成する。
 - ・みずからの大道を明らかにするため、学びで知性を深めることのできる人材を育成する。
 - ・友人に対し親愛の情をもって接することができ、人の心を動かすことのできる人材を育成する。
- 本校が目指す学校像
 - ・ 学習、クラブ活動、学校行事、大会コンペ、社会参加活動等でみずからの個性や能力を十分に発揮し、明るく生き生きと毎を送り、日々成長することができる活力に満ちた学校。
 - ・ ビジネスの学習を通じて、高い専門性と実践力を身につけ、自ら希望する進路実現ができる学校。
 - ・ 簿記学の精神であるコミュニケーション能力、問題解決能力を備えた人間力あふれる人材を輩出し、地域社会に貢献できる学校。
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。また、保護者に対しては保護者会にて同じく「学生の手引き」を配布しており、欠席者に対しては送付し徹底して周知を図っている。

- 社会のニーズへの柔軟な対応として、教育課程編成委員会を設置し、業界関係者等の外部委員から意見を取り込み、毎年、教育内容の見直しを図っている。
- 人間性教育（道徳・情操教育）
「人間力あふれる・・・」（教育理念）、「思いやりの心と共同の精神をもつ・・・」（教育目標）、「友人に対し親愛の情をもって接する・・・」「人の心を動かすことのできる・・・」（教育方針）などの人間性と専門性ある社会人を育成することに使命を有しているため、これらの目標に沿って教育課程を編成することが今後も主たる目標としたい。
国から示されている人間力「前に進む力」「自分の頭で考える力」「チームで働く力」を、学校での生活事例にあてはめ、定期的なアンケートを在校生にとることで指数化することを検討していきたい。
学年集会や課外活動のなかで、人間・道徳・倫理・恋愛・セクハラ・結婚・仕事・家族・平和・戦争・正義・国民の義務などを継続的テーマとして取り上げ、考える機会を提供する。

（3）課題と改善策

- 企業連携教育、職業教育のさらなる教育内容の充実に向けて、業界・企業との協力体制の強化が必要。
- 保護者への教育理念、教育目標、教育活動等の周知徹底のため、年3回以上の学校新聞の発送、保護者 MyiD（保護者連絡ツール）によって、保護者への連絡を定期的に行う等、保護者への周知・協力体制の強化が必要。

2. 学校運営

（1）自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(2) 現状

- 運営方針は年度初めにビジョンシートに明記され、全体職員会にて全教職員・非常勤教員に至るすべてのスタッフに周知されている。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 教務・財務等の組織整備など、法人全体の重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会を開催して意思決定がなされている。
- 校内においては校運営会議、全体職員会を定期的に開催し、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意思決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。
- 情報システムとしては、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。また、業務複雑化に伴いシステムの入替・改修を随時行っている。2023 年度より勤怠管理システムを導入し、教職員の労務管理もシステム化が行われている。
- 情報公開について、休日等は Web サイトへの予約投稿機能を使い、また、発信内容をチェックする側も予約投稿前に事前チェックを行える環境を整え、労務管理に配慮している。

(3) 課題と改善策

特になし

3. 教育活動

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	3
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科主任を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 実践的な職業教育として、企業と連携した職業実践型授業を全学科にて行っている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、対策授業を取り入れることで学生の資格取得を支援している。入学前体験授業や検定対策を取り入れ、入学してからの目指す検定のレベルを引き上げることで、より企業から求められる“自分の頭で考え、主体的に行動できる人材”を育てることに力を入れている。
- 教員の資質向上については、専任教員は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会への参加等を奨励している。

(3) 課題と改善策

- 業界等との連携における関係分野の講師の確保や教員研修等を推進し、質の高い職業教育に努める。
- より実践的な職業教育の実現に向けて、全学科でインターンシップの推進を図る。

4. 学修成果

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 現状

- 就職部長、就職相談室室長を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- キャリア教育として、業界で活躍する複数の卒業生を召喚し、講演形式で毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等を行う宿泊型の研修も毎年実施している。
- 「簿記検定」「コンピュータ会計検定」「FP 検定」等の専門分野の資格については、毎朝行う確認テストや授業動画の録画、受験直前の集中講義等の対策授業を実施することで、取得率の向上を図っている。
- 健康上の理由や精神的な理由による欠席等、学生の状況については、毎週水曜日に行われる職員会議で担任からの報告により把握、共有される。また、担任と教務部長により、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施し、退学率の低減に努めている。
- 産業カウンセラーと契約し、精神的に不安定な学生や問題を抱える学生のケアを行っている。
- 各種退学率の低減の取り組みにより、5年連続で退学率は2%以内となっている。
- 卒業生については校友会が組織され、各学年より1名の実行委員が選出され、名簿の作成や同窓会等の校友会活動が実施されている。
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握について、卒業生は内定企業を通しての定期的なヒアリングと、本人の学校訪問時のヒアリングにて、企業側・本人の両面から把握に努めている。

(3) 課題と改善策

- すべての業界・企業に対しての卒業生・在校生のキャリア形成への効果の把握を行うべく、就職相談室が中心となり、組織的かつ継続的に把握が行われるような仕組みづくりが必要。

5. 学生支援

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(2) 現状

- 進路・就職相談についてはクラス担任、就職部が連携し、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、毎週1回合同の就職面接会を開催しており、面接指導体制とレベル別・分野別に弱点克服指導体制を確立している。
- 一般社団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。さらに学費サポートセンターを設置し、専門スタッフを配置している。
- 学生の健康管理は、学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。
- 課外活動については、ボランティア情報など情報提供を行い、参加を促しており、進級・卒業時の必須参加ポイントを導入している。また、にいがた総踊りやサークル活動などの活動費や道具等の支援を積極的に行っている。
- 学生の生活環境支援として、学生寮、アパート物件等の紹介制度があり、入学前に見学会も実施している。学校から徒歩10分圏内に男女それぞれの学生寮がある。
- 年2回(4月・11月)に保護者会を開催している。希望者には担任との個別面談を実施し、保護者との連携を図っている。11月の保護者会については就職に関するテーマで学校の就職支援の取組を説明し、また在校生の就職活動状況を座談会形式でわかりやすく伝えるように努めている。
- 卒業生に対しては校友会を通じて学校の各種情報を提供している。

- 社会人の入学希望者に対応するために、社会人特待入試制度を設けており、受け入れ態勢を整えるとともに、各種奨学金制度を整備している。

また、厚生労働大臣指定の専門実践教育訓練指定講座の認定を受け、社会人の入学希望者への支援体制を充実させた。

(3) 課題と改善策

- 卒業生への支援では校友会との連携強化を中心に、支援体制をさらに構築していく。具体的には HP のリニューアルや情報提供、中途採用求人等の公開を就職部にて検討する。

6. 教育環境

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	4

(2) 現状

- 法人が所有する研修施設において、就職研修、テーブルマナー研修、各学科別研修を実施している。
- 当校では教育目標の達成のために、海外研修を選択科目としており、受入先と連携して研修が進められるよう教育体制が整備されている。
- 年1回避難訓練を実施し、避難経路・避難場所の確認を行っている。
- 全職員対象に2年に一度AED講習を実施しており、緊急時の対応に備えている。
- 動画教材の導入等によるインターネット環境として、全館Wi-Fiを完備している。
- 2019年度より新潟ビジネス専門学校と同一校舎となり、今までの他分野の学校と同一校舎と比較しても、学生達にとって、よりビジネスを学ぶ環境が整備されている。

(3) 課題と改善策

特になし。

7. 学生の受入れ募集

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 現状

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。SNS（インスタグラム・X）やLINE等、高校生の使用頻度が高いツールによる告知を強化し、月に2回以上の頻度でオープンキャンパスを開催している。オープンキャンパスではプログラムを工夫し、学校・学科説明だけでなく、体験実習や授業体験を実施する等して当校に対する理解を深めてもらっている。その他、教職員による県内外高校訪問等による学生募集活動も実施している。
- 中学生向けの職業教育事業や、高校との連携教育事業にも積極的に参加している。
- 卒業生の進路状況や各種資格検定取得状況等の教育成果は、パンフレットやWebサイトへの掲載によって公開されている。
- 高等学校訪問により、資格取得状況、就職内定状況などの情報を随時報告し、進路指導に役立ててもらうとともに、高校卒業後の学生状況を共有し、学生指導の協力体制を構築している。
- 留学生向けの会計教育カリキュラムを整備し、留学生の受け入れを行っている。

(3) 課題と改善策

特になし。

8. 財務

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 現状

- 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

(3) 課題と改善策

- 現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていききたい。

(4) 特記事項

- 学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。

9. 法令遵守

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

(2) 現状

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部が窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成 25 年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- 本報告書については、当校の Web サイトに掲載して広く公開している。

(3) 課題と改善策

特になし。

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

(2) 現状

- 地域の中学校の総合学習に積極的に協力している。当校の教育資源を活用した職業体験や上級学校研究に寄与している。
- 社会貢献・地域貢献については、「明和義人祭」、「にいがた総おどり」出演や各ボランティアスタッフとして積極的に参加している。
- 令和3年より文部科学省委託事業を受託し高校と専門学校の接続事業に貢献している。

(3) 課題と改善策

特になし。